

株式会社インタラクティブィ 番組審議委員会議事録

1. 開催日時： 令和5年7月12日（水） 12時00分～14時00分

2. 開催場所： JCOM株式会社会議室 3階 Room1 会議室

3. 委員の出席：

委員総数： 7名

出席委員数： 7名

出席委員の氏名：

（敬称略、五十音順）

植田 益朗、音 好宏、片山 哲郎、砂川 浩慶、村上 憲一、中川 幸美、吉岡 忍

放送事業者側出席者：

株式会社インタラクティブィ

代表取締役社長

笹島 一樹

取締役

高木 明夫

株式会社 エー・ティー・エックス<アニメシアターX>

CH事業部長

佐野 圭介

コンテンツ事業部長

山崎 明日香

ジュピターエンタテインメント株式会社<ムービープラス>

代表取締役社長

林田 真由

編成企画部 副部長

伊妻 顕子

編成企画部 アシスタントマネージャー

志賀 可奈子

編成企画部 アシスタントマネージャー

森 朋子

事務局：

JCOM株式会社

メディア事業推進部 木村 秀行、斉藤 弘之、河原畑 薫、廣田 結子

4. 議題

株式会社インタラクティブィで放送する6チャンネルの内、「アニメシアターX」、「ムービープラス」の番組内容、編成内容について。

## 5. 審議内容

①「アニメシアターX」の編成およびオリジナル番組『あにめすこーぷ』について、各委員より以下のような意見・質問がなされた。

—アニメ本編以外のエピソードへの広がりがあり、非常に面白かった。

—アニメ本編で取り上げた業界の専門的な話題が多数出ていたため、もう少し掘り下げて長尺で聞いてみたかった。また、アニメ本編について、プロの視点から見た実態に即していないネガティブな部分についても聞いてみたかった。

—アニメ本編のテーマに沿った本業の方々にお話を伺うという斬新な番組企画に関心した。

—本作は面白いトーク番組として成立している一方、アニメ本編への誘導要素は薄いと感じた。

—今回は水族館がテーマの回であったが、ヤンキーアニメやアイドルアニメなど、他のエピソードも見たいと思わせる番組であった。

—本業の方からのコメントを受けての制作者側からのコメントなども聞いてみたかった。

—今回取り上げた業界のビジネス情報番組という体を為しており、アニメに関心が薄い視聴者も非常に楽しめると思う。今後も様々な業界をテーマにしたアニメを取り上げることで、取り上げられた業界自体の盛り上がりの一助になるのではないか。

### <事業者回答>

—本作はアニメ本編の初回放送から再放送までの間に放送しており、初回から視点を変えて観て頂く為のナビゲート番組という位置付けで制作している。今後も様々な業界をテーマとしたアニメ作品を取り上げていきたい。

②「ムービープラス」の編成およびオリジナル番組『映画館へ行こう』について、各委員より以下のような意見・質問がなされた。

—映画の予告編がワンパターンであることが気になっている。映画専門chならではの映画評などを取り入れてみたり、テレビで映画館の告知をするというアンチテーゼがあっても良いのでは。

—新作映画の番宣番組というだけでは、映画館に行こうという気持ちになれない。

—映画館で見ているものとは違った、テレビならではのアプローチがあっても良いと思う。

—コメンテーターの熱量が一番のアピールポイントとなるため、映画本編を見た後の批評をもう少し工夫するなどしては。映画専門chの看板としての映画評論家を育てていくという視点があっても良いと思う。

### <事業者回答>

—制作費のコストカットをし続けたため、番組内容が希薄になってしまった部分は否めない。とはいえ、映画館を盛り上げていきたいという気持ちは変わっておらず、今後は限られた制作予算の中で如何に工夫していくかという点に配慮していきたい。

以上